

メイドイン、日本。  
メイドフォー、日本。



GASSHO  
PROJECTS

2016 - 2018

ひとりの表現者と、技のアルチザンたち。  
そこから生まれる新たなカタチ。

## - CONCEPT -

新しい試みに挑み始めたのは2015年の秋。  
職人の友人と立ち話している時にふと思いました。

我々、物作りをしている人間の使命とは何か。  
やりがいとは何か。目的とは何か。

「技」有りきの職人&「表現」有りきの美術家。

プロとして生きている我々が、  
そのスペシャリティーで遊び合ったらどうなるか。

研ぎ澄まされた技は勿論のこと、日本の心である  
「味」「粹」を持ち合わせたつくり手同士が手を合わせ、  
また別の価値を持つストーリーを創り上げる創造者集団です。

現代アーティスト/ KEI ARABUNA





## プロジェクト略歴

2015 ケイ・アラブナ、若山真也、生地史子により発足

伊藤孝英、増田健、藤村正和が加入

2016 富山県「じょうはな織館」個展

2018 石川県「金沢・クラフト広坂」個展

北陸中日新聞、北國新聞、北日本新聞  
他各地方メディアに掲載





同じ土から生まれし素材は、それぞれの時  
を隔て二度と元に戻らない物質となった。

その姿のまま今再び融け合い、  
新たな可能性を芽生えさせる。

## 派生

-derivation-



Kei Arabuna  
アーティスト・創るひと

伊藤孝英  
陶工・造るひと

藤村正和  
硝子作家・造るひと

# TAKAHIDE ITO

IN ISHIKAWA, FROM HOKKAIDO



KEI ARABUNA IN ISHIKAWA, FROM TOKYO



# MASAKAZU FUJIMURA

IN TOYAMA, FROM HIROSHIMA



うつわを「仕舞う」ということ。



落穂拾い - glean -

<コンセプトアイデア>

2018.08

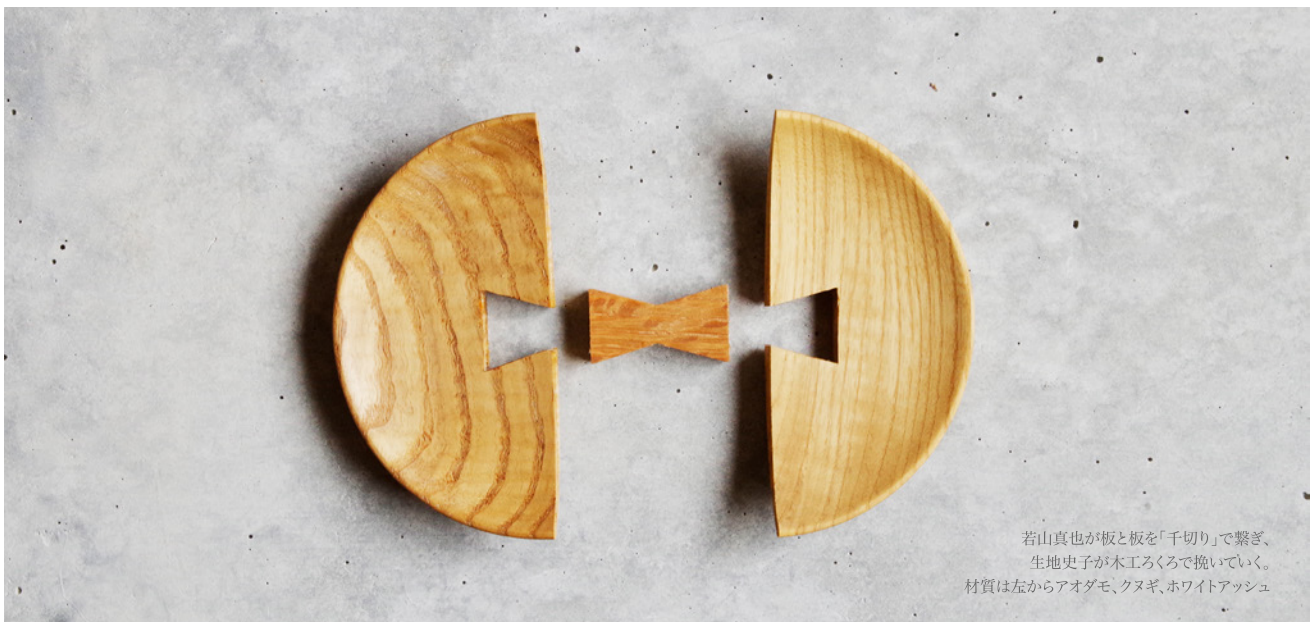


様々な樹種の組み合わせが可能。  
 予定販売価格¥12,800+tax

日本の建築大工の技法の一つ「組木」。釘などの金具を一切使わず、削った木材同士をつなげる事で強度を出す方法です。それらは数百種あると言われ、その工法は各地の棟梁より伝えられました。

「人と人を繋ぐ」「古と新を継ぐ」をコンセプトに掲げたアーティスト「ケイ・アラブナ」と2人の木工職人、建築大工「若山真也」と挽物木地師「生地史子」。

この3人により生み出された器は、卓越した技術と共に自分で組み合わせる楽しみを様々なシーンへとお伝えします。



若山真也が板と板を「千切り」で繋ぎ、  
 生地史子が木工ろくろで挽いていく。  
 材質は左からアオダモ、クヌギ、ホワイトアッシュ

MADE by GASSHO PROJECTS

GASSHOとは

日本が誇る伝統の技。それは「職人」と呼ばれる  
 その道を極めたプロにより継承されてきた。  
 彼らは類稀なる技を持っているが、「芸術家」とは目的が違う。  
 自己を「職人」であることに誇りを持ち、日々製作に従事する  
 つくり手たちと共に新たな感動のカタチを生み出す  
 アーティスト、ケイ・アラブナを中心とした創造集団。



GLEAN MEMBER

**Kei Arabuna**  
 アーティスト・創るひと

**若山真也**  
 建築大工・造るひと

**生地史子**  
 挽物木地師・造るひと



FUMIKO SHOJI  
IN ISHIKAWA, FROM ISHIKAWA







**SHINYA WAKAYAMA**  
IN ISHIKAWA, FROM ISHIKAWA



# KAGUTSUCHI

- mizunara -

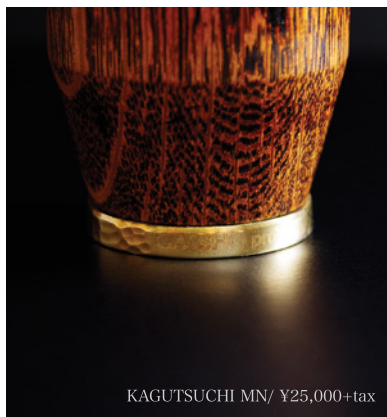


口に含む、その瞬間まで  
時を感じたい。

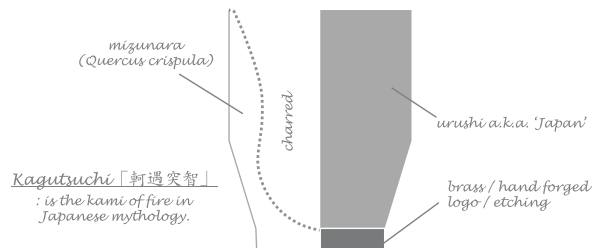
日本のアーティストと日本の職人が生み出した、究極のウイスキー専用グラス。

「時の経過」や「記憶」をコンセプトに活動するアーティスト、ケイ・アラブナが提案したのは、「日常のひとりの時間」。石川県山中漆器の挽物木地師である生地史子により、伝統工芸の技術で一つひとつ挽かれたミズナラ※を、ウイスキー樽のごとく内側を大胆に焼きました。注がれたウイスキーがまるで手の中で熟成するような、贅沢な時間をお楽しみいただけます。

※ミズナラ … ジャパニーズウイスキーの樽に使われる木材



KAGUTSUCHI MN/ ¥25,000+tax



左から1:手挽きの技術でしか作れない繊細かつ滑らかな形状をした内側に、ひとつひとつ手作業でチャーリング(焼き加工)を施します。  
2:高台の真鍮リングは手打ち鍛造製。ロゴはエッチング(溶解侵食)により経年変化と共に文字が浮かび上がります。 3:構造図

MADE by GASSHO PROJECTS

## GASSHOとは

日本が誇る伝統の技。それは「職人」と呼ばれるその道を極めたプロにより継承されてきた。彼らは類稀なる技を持っているが、「芸術家」とは目的が違う。自己を「職人」であることに誇りを持ち、日々製作に従事するつくり手たちの手を借り、あえて新たな感動のカタチを生み出すアーティスト、ケイ・アラブナを中心とした創造集団。



## KAGUTSUCHI MEMBER

Kei Arabuna  
アーティスト・創るひと

生地史子  
挽物木地師・造るひと

高柳宏介  
国際唎酒師・アドバイスするひと



# CONCRETE CERAMIC

- FROM KUTANI WARE -

都市と自然。  
その特徴が入り混じる。



## 日本のアーティストと日本の職人が生み出した、天然素材100%の手仕事

素材と感覚的に向き合う東京出身のアーティスト、ケイ・アラブナが提案したのは「都市と自然の交差点」。石川県九谷焼の陶工である伊藤孝英により九谷磁土と白土をブレンドされた土はまるで、人工的なコンクリートのような色味と質感を持ちます。都市と日常の中で、確かな手仕事と素材をお楽しみいただける器です。



CR-P S/¥3,800+tax  
M/¥5,000+tax  
L/¥6,500+tax



CR-B ¥4,300+tax



CR-C L/¥4,500+tax  
S/¥3,200+tax

左から1:和食洋食問わず使えるフラットプレート。サイズは3種類。  
2:ボウルやコップの内側には昔ながらの和食器の「味」となる貫入が楽しめる釉掛けがされています。 3:焼締はドリンクの熱を保ちます。

MADE by GASSHO PROJECTS

### GASSHOとは

日本が誇る伝統の技。それは「職人」と呼ばれる  
その道を極めたプロにより継承されてきた。  
彼らは類稀なる技を持っているが、「芸術家」とは目的が違う。  
自己を「職人」であることに誇りを持ち、日々製作に従事する  
つくり手たちと共に新たな感動のカタチを生み出す  
アーティスト、ケイ・アラブナを中心とした創造集団。



CONCRETE CERAMIC MEMBER

Kei Arabuna  
アーティスト・創るひと

伊藤孝英  
陶工・造るひと



# KIRIDASHI

-for JAPAN works-



切・漉・削。

この一本に全てが込められる。

日本の心と技と伝統が込められた、ものづくりの為の「切り出し刀」。

革、木、紙を素材に使うアーティスト、ケイ・アラブナと、新潟県三条市の小刀鍛冶師、増田健。「日本の刃物」の特徴である交換可能な柄には、手に馴染む「ウェンジ・チェリー・チーク」を採用。形状、素材、研ぎに至るまでを、幾度となく実践で試された形状と共に、「青紙2鋼」「白紙2鋼」の刃はそれぞれの切れ味、刃持ちの特徴を持ちます。



KD-青紙鋼 ¥21,000+tax  
KD-白紙鋼 ¥18,000+tax  
<革鞘付き>



左から1:手打ち鍛造ならではの乱刃の波紋。刃となる鋼には「青紙2鋼」「白紙2鋼」をご用意しました。2:鞘にはLBK製の鎧染牛革(本漆で染められた革)を使用。3:厚手の革はもちろん、薄い箇所も繊細に加工できます。

MADE by GASSHO PROJECTS

GASSHOとは

日本が誇る伝統の技。それは「職人」と呼ばれるその道を極めたプロにより継承されてきた。彼らは類稀なる技を持っているが、「芸術家」とは目的が違う。自己を「職人」であることに誇りを持ち、日々製作に従事するつくり手たちの手を借り、あえて新たな感動のカタチを生み出すアーティスト、ケイ・アラブナを中心とした創造集団。



KIRIDASHI MEMBER

Kei Arabuna  
アーティスト・創るひと

増田健  
小刀鍛冶師・造るひと



TAKESHI MASUDA IN NIIGATA,  
FROM NIIGATA



## Kei Arabuna Art Studio

---



〒 923-0825  
石川県小松市西軽海 2-58  
tel / 070-5063-2469  
mail / keiarabuna@gmail.com  
  
keiarabuna.weebly.com

---

photographed by Kei Arabuna

---

本カタログは2018年10月に制作されたものです。掲載価格は税別の価格となります。